

農001	項目名	新規就農推進事業費	新規事業
予算書項目	次代の農業を担う若者育成対策事業費		ページ 239
年度	R6		所 属 名 農林水産部 農政企画課
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業総務費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	16,285		
本年度要求額	20,040		
総務部長段階査定額	12,617	その他財源の内訳	
市長段階査定額	12,617	分担金	0
区 分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳	国・県支出金 1,600	使用料	0
	地方債 0	手数料	0
	その他 0	財産収入	0
	一般財源 11,017	寄付金	0
計	12,617	繰入金	0
		贈入金	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305

【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン

【事業の経過及び背景】
 農業者等の高齢化、減少等の問題に対応するため、県内外から就農意欲の高い若者を呼び込み、新規就農者の育成確保や円滑な就農定住を促進するための支援を行う。
 また、農業後継者については、地域農業の担い手として位置付けられた農業経営主が、将来その経営を移譲する親族（子）に対して農業技術や経営ノウハウ等を習得させるための研修について支援を行う。

【事業の目的及び効果】
 農業研修生や農業後継者の確保及び円滑な就農のための支援。

【事業の内容】
 ①農業体験事業 2人 3,600千円
 ②親元就農研修 2人 2,400千円

【事業の実績】
 令和3年度 11,592千円 親元就農研修5人、農業体験者1人
 令和4年度 12,946千円 親元就農研修3人、農業体験者2人
 令和5年度 9,125千円（見込） 親元就農研修3人

農002	項目名	新規就農営農支援事業費	新規事業
予算書項目	次代の農業を担う若者育成対策事業費		ページ 239
年度	R6		所 属 名 農林水産部 農政企画課
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業総務費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	28,073		
本年度要求額	20,682		
総務部長段階査定額	20,682	その他財源の内訳	
市長段階査定額	20,682	分担金	0
区 分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳	国・県支出金 18,744	使用料	0
	地方債 0	手数料	0
	その他 0	財産収入	0
	一般財源 1,938	寄付金	0
計	20,682	繰入金	0
		贈入金	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305

【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン

【事業の経過及び背景】
 新規就農者の定着を図るため、経営が不安定な就農初期の支援策として経営開始資金等の給付や就農時の負担軽減のための農地賃借料助成、機械施設導入に係る経費助成を行う。

【事業の目的及び効果】
 新規就農を目指す青年等の就農初期の経営を支援することで、就農時の負担軽減を図るとともに、安定経営に繋げる。

【事業の内容】
 ①経営開始資金 4人（国10/10） 6,000千円
 ②農地賃借料助成金 4人（市10/10） 405千円
 ③就農条件整備事業 2人（県1/3・市1/6） 3,444千円
 ④経営発展支援事業 1人（国1/2・県1/4） 7,199千円

【事業の実績】
 令和3年度 15,118千円
 令和4年度 18,864千円
 令和5年度 10,894千円（見込）

農003	項目名	農業公社運営事業補助金	新規事業												
予算書項目	農業公社運営事業補助金		ページ 239												
年度	R6		所 属 名 農林水産部 農政企画課												
会計名	一般会計														
款	農林水産業費														
項	農業費														
目	農業総務費														
(単位：千円)															
前年度当初予算額	9,476														
本年度要求額	9,476														
総務部長段階査定額	9,476														
市長段階査定額	9,476														
区分	本年度予算額														
財源内訳	国・県支出金	0													
	地方債	0													
	その他	0													
	一般財源	9,476													
	計	9,476													
備考欄															
事業の概要															
【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305															
【1次総の施策体系】 2104															
【事業の経過及び背景】 鳥取市農業公社は、平成20年の国府・鹿野・青谷の公社統合と平成25年の一般財団法人化を経て、高齢化や後継者不足に対応するため、農地保有合理化事業と農作業受託事業を行い地域農業の振興に寄与してきた。 農地貸借事業実施団体として、鳥取、福部、国府、鹿野、青谷地域のエリアで農地の流動化や荒廃農地の拡大防止に取り組んでいる。															
【事業の目的及び効果】 農地保全及び集積による地域農業の振興と、農村地域の維持発展に寄与することを目的とする農業公社の円滑な運営を図る。															
【事業の内容】 ①公社事務局事業 4,476千円 ②農地中間管理事業 1,900千円 ③農地保全等事業 3,100千円 補助率：10/10															
【事業の実績】 令和3年度 9,476千円 令和4年度 9,476千円 令和5年度 9,476千円（見込）															
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>農地中間管理事業面積</td> <td>96.8ha</td> <td>86.0ha</td> <td>59.7ha（見込）</td> </tr> <tr> <td>農作業受託面積</td> <td>44.6ha</td> <td>52.1ha</td> <td>52.0ha（見込）</td> </tr> </table>					令和3年度	令和4年度	令和5年度	農地中間管理事業面積	96.8ha	86.0ha	59.7ha（見込）	農作業受託面積	44.6ha	52.1ha	52.0ha（見込）
	令和3年度	令和4年度	令和5年度												
農地中間管理事業面積	96.8ha	86.0ha	59.7ha（見込）												
農作業受託面積	44.6ha	52.1ha	52.0ha（見込）												

農004	項目名	果樹振興対策事業費	新規事業
予算書項目	園芸産地づくり事業費		ページ 239
年度	R6		所 属 名 農林水産部 農政企画課
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業振興費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	22,698		
本年度要求額	16,047		
総務部長段階査定額	16,047		
市長段階査定額	16,047		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	15,367	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	680	
	計	16,047	
備考欄			
事業の概要			
【問合せ先】 生産振興係 0857-30-8304			
【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略			
【事業の経過及び背景】 本市の果樹栽培は、近年、生産者の高齢化、後継者不足、販売価格の低迷等により、生産者数、栽培面積、生産量ともに減少を続けている。			
【事業の目的及び効果】 果樹の生産から出荷、販売を支援することにより、果樹生産の総合的な振興を図り、消費拡大、生産者の意欲向上を図る。			
【事業の内容】 ①鳥取梨生産振興事業【県間接】（新甘泉、二十世紀、王秋ほか） 計6事業者 ・新植、果樹棚、かん水、防蟻灯、防風施設等整備 8,644千円（補助率：県1/2～2/3） ・育成促進（奨励金） 1,120千円（補助率：県1/2・市1/2） ・低コスト・体制強化 1,280千円（補助率：県1/3） ②鳥取柿ぶどう等生産振興事業【県間接】（柿・ぶどう） 計5事業者 ・新植、果樹棚、かん水、ハウス等整備等 4,645千円（補助率：県1/2） ・育成促進（奨励金） 168千円（補助率：県1/2・市1/2） ・低コスト・体制強化 154千円（補助率：県1/3） ③果樹振興対策事業【単市】 ・品質向上支援事業（マルチ購入） 36千円（補助率：市1/2）			
【事業の実績】 令和3年度 16,692千円 令和4年度 14,721千円 令和5年度 13,779千円（見込）			

農005	項目名	新嘗祭献穀米事業費	新規事業	○
予算書項目	特別栽培農産物生産振興事業費	ページ	241	所 属 名
年度	R6	農林水産部 農政企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 新嘗祭献穀事業は、県の各総合事務所農林局の輪番で行われており、令和6年度は東部農林事務所管内が行うこととなっている。 東部農林事務所管内では、平成25年度に鳥取市（用瀬町）で行って以降、平成28年度智頭町、平成30年度岩美町、令和3年度八頭町で実施しており、令和6年度は鳥取市で実施することとなった。			
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 日本古来の伝統行事である新嘗祭の献穀に奉仕する者を支援することにより、本市の農業振興を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 事業実施主体：新嘗祭献穀米実行委員会（奉仕者、地元自治会、県、市） 事業概要：播種式、田植式、抜穂式、献納式の実施 実施場所：気高町下坂本地内 事業費：1,450千円（市1,300千円、JA150千円）			
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	1,300			
総務部長段階査定額	1,300	その他財源の内訳		
市長段階査定額	1,300	分担金	0	
区分	本年度予算額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	0	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	1,300	繰入金	0	
計	1,300	贈収金	0	
		その他	0	
備考欄				

農006	項目名	みんなでやらいや農業支援事業費	新規事業	
予算書項目	みんなでやらいや農業支援事業費	ページ	241	所 属 名
年度	R6	農林水産部 農政企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 本市では農地の遊休化、農業者の高齢化が進行する状況下である。その中で、生産規模拡大等を目指す意欲ある農業者が作成する計画（プラン）に対し支援を行うことで、地域農業の振興、活性化、農業者の所得向上を図ってきた。			
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 意欲ある農業者、農業集団等が目的達成のために作成したプランに位置づけた取り組みに対し支援を行い、地域農業の振興や活性化を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 事業実施主体の作成した「プラン」を実現するために必要な事業（ハード、ソフト事業）に対し助成する。 （補助率）ソフト：県1/2・市1/6、ハード：県1/3・市1/6 （補助上限額）個人：4,500千円、法人等：10,500千円			
前年度当初予算額	20,749	○令和6年度実施予定 がんばる農家プラン事業費補助金 鳥取（継続1件・新規1件）コンバイン、ハンマーナイフモア 国府（継続1件）玄米保管庫		
本年度要求額	22,759	【事業の実績】 令和3年度 6,245千円 令和4年度 23,430千円 令和5年度 17,895千円（見込）		
総務部長段階査定額	8,885	その他財源の内訳		
市長段階査定額	8,885	分担金	0	
区分	本年度予算額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	5,923	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	2,962	繰入金	0	
計	8,885	贈収金	0	
		その他	0	
備考欄				

農007	項目名	産地主体型就農支援モデル確立事業費		新規事業
予算書項目	産地主体型就農支援モデル確立事業費		ページ	241
年度	R6		所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 産地の維持・発展に必要な新規就農者の確保、定着をより円滑に進めるためには、地域ぐるみでの受入体制の構築が求められている。			
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 産地が主体的に後継者を育成・確保する仕組みとして、産地の将来ビジョンに基づき、新規就農希望者に対する技術習得研修、継承すべき優良農地の維持管理、研修や営農開始に必要な機械・施設整備等を先行して進め、パッケージで支援する体制づくりを支援し、受入体制の構築を進める。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ○新規就農者の確保育成に必要な活動に要する経費 1件 202千円 補助率：10/10 (県1/2・市1/2) ○新規就農者等が賃借するまでの間、生産者グループ等が行う優良園を維持管理する経費 1件 3,520千円 (梨園88a) 補助率：10/10 (県1/2・市1/2)、補助額 (梨園)：400千円/10a			
前年度当初予算額	2,146		【事業の実績】 令和3年度 146千円 令和4年度 2,000千円 令和5年度 2,145千円 (見込)	
本年度要求額	3,722			
総務部長段階査定額	3,722		【事業の内容】	
市長段階査定額	3,722		○新規就農者の確保育成に必要な活動に要する経費 1件 202千円 補助率：10/10 (県1/2・市1/2) ○新規就農者等が賃借するまでの間、生産者グループ等が行う優良園を維持管理する経費 1件 3,520千円 (梨園88a) 補助率：10/10 (県1/2・市1/2)、補助額 (梨園)：400千円/10a	
区分	本年度予算額	【事業の実績】		
財源内訳	国・県支出金	1,861	令和3年度 146千円	
	地方債	0	令和4年度 2,000千円	
	その他	0	令和5年度 2,145千円 (見込)	
	一般財源	1,861		
	計	3,722		
備考欄				

農008	項目名	農産物販路拡大支援事業費		新規事業
予算書項目	鳥取地域ブランド農産物育成支援事業費		ページ	241
年度	R6		所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 生産振興係 0857-30-8304			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 食の「安全・安心」が求められる中、本市及び麒麟のまち圏域の魅力ある農林水産物等をマルシェや試食宣伝・商談会などを通して関西圏を中心にPRしてきたが、潜在的な需要はあるものの、安定的な供給量の確保が困難な事や、流通コスト高により取引単価が見合わないなどの理由により、直接取引に繋がらないケースが多い現状がある。その課題を解決するためには、産地化によるロットの確保や地域商社機能を活用した物流・商流の一歩化などの取り組みを推進していく必要がある。			
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 県内外のバイヤーの実需を把握し、集荷から販売までのトータルでの販路開拓を行うとともに、主に関西圏においてマルシェの開催や商談を通して広域的なPR活動を行い、麒麟のまち圏域の農林水産物等の知名度アップを図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ①とっとり旬菜マルシェ等開催業務 ②麒麟のまち特産品商談業務 ③米の流通及び消費拡大業務 ④麒麟のまち賑わい創出事業			
前年度当初予算額	891		○令和6年度実施予定 マルシェ 30回 (大阪25回・兵庫2回・東京1回・広島1回・岡山1回) 商談事業 44回 (現地商談4回・訪問商談30回・リモート商談10回)	
本年度要求額	9,968		【事業の実績】 令和3年度 8,165千円 令和4年度 4,030千円 (コロナ交付金事業分除く) 令和5年度 891千円 (コロナ交付金事業分除く) (見込)	
総務部長段階査定額	8,274			
市長段階査定額	8,274			
区分	本年度予算額	【事業の内容】		
財源内訳	国・県支出金	0	①とっとり旬菜マルシェ等開催業務	
	地方債	0	②麒麟のまち特産品商談業務	
	その他	0	③米の流通及び消費拡大業務	
	一般財源	8,274	④麒麟のまち賑わい創出事業	
	計	8,274	○令和6年度実施予定 マルシェ 30回 (大阪25回・兵庫2回・東京1回・広島1回・岡山1回) 商談事業 44回 (現地商談4回・訪問商談30回・リモート商談10回)	
備考欄				

農009	項目名	次世代農業推進事業費	新規事業
予算書項目	次世代農業推進事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農家の高齢化により担い手不足や耕作放棄地の増加等、一次産業の衰退が懸念される中、スマート農業の導入による省力化・効率化による高収益な農業経営が求められている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 本市農業が抱える課題が多くある中、先進的な農業生産技術やICTを活用した新技術の導入による作業の効率化・軽減化、また、本市の自然エネルギーの農業への活用研究などに取組むことで、新たな農業の担い手の確保につなげるとともに、本市の農業の振興を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①梨実証事業のデータ公開用HP運営業務 ②JGAP普及業務		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和3年度 8,762千円 令和4年度 2,330千円 令和5年度 2,000千円（見込）	
本年度要求額	1,165		
総務部長段階査定額	965	【事業の内容】	
市長段階査定額	965	①梨実証事業のデータ公開用HP運営業務 ②JGAP普及業務	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和3年度 8,762千円 令和4年度 2,330千円 令和5年度 2,000千円（見込）	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	965		
計	965		
備考欄			

農010	項目名	スマート農業実装加速化促進事業費	新規事業
予算書項目	次世代農業推進事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農家の高齢化等による担い手の減少や耕作放棄地の増加が進んでおり、持続可能な農業を実現するための方策として、省力化技術の開発・導入が課題となっている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 農作業の負担軽減や技術伝承に資する農業機械・設備（スマート農機）や、パソコン、タブレット等の電子機器で作業管理や環境を測定する生産管理システム等の導入を行う農業者を支援することで、スマート農業を普及拡大させ本市の農業振興を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 作業及び農業経営の効率化を図るためのICTやロボット技術を活用した機械及び設備の導入経費等に対する補助金 補助率：1/2（県：1/3・市：1/6） 補助上限額 ※共同利用で上限額の嵩上げあり ・個人：4,500千円（共同利用：9,000千円） ・法人等：10,500千円（共同利用：21,000千円）		
前年度当初予算額	23,804	○令和6年度実施予定 河原（1件）自動操舵付きトラクター、直進アシスト付き田植機、 トラクター用後付け自動操舵装置 鳥取（1件）収量センサー付きコンバイン	
本年度要求額	12,575	【事業の実績】 令和3年度 13,022千円 令和4年度 22,182千円 令和5年度 22,018千円（見込）	
総務部長段階査定額	12,575		
市長段階査定額	12,575		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	8,382		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	4,193		
計	12,575		
備考欄			

農011	項目名	もうかる6次化・農商工連携支援事業費	新規事業
予算書項目	もうかる6次化・農商工連携支援事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農林水産物の価格が低迷傾向にある中、6次産業化（農商工連携）の取組は農林漁業者の所得確保の手段のひとつとして有効である。農林漁業者の主体的な6次産業化への取組には新たな加工機械導入への大きな投資が必要であることから、こうした取組に対する支援が求められている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 農林漁業者自らが加工・製造、流通・販売までを主体的に取り組む6次産業化や、農林水産業と商業・工業などが連携して商品製造等に取り組む農商工連携を推進することにより、農林漁業者の所得向上と地域経済の活性化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	0	①6次産業型・補助率1/2（県1/3・市1/6） ・賀露（継続1件）：干し芋用蒸し器・乾燥機	
本年度要求額	5,483	②農商工連携型・補助率1/3（県1/3） ・福部（新規1件）：どら焼き機	
総務部長段階査定額	5,483	【事業の実績】	
市長段階査定額	5,483	令和3年度 14,118千円（※県返還金353千円含む） 令和4年度 9,801千円 令和5年度 0千円	
区分	本年度予算額	【事業の内容】	
財源内訳	国・県支出金 5,178	①6次産業型・補助率1/2（県1/3・市1/6） ・賀露（継続1件）：干し芋用蒸し器・乾燥機	
	地方債 0	②農商工連携型・補助率1/3（県1/3） ・福部（新規1件）：どら焼き機	
	その他 0	【事業の実績】	
	一般財源 305	令和3年度 14,118千円（※県返還金353千円含む） 令和4年度 9,801千円 令和5年度 0千円	
	計 5,483		
備考欄			

農012	項目名	鳥取市戦略的園芸品目（イチゴ「とっておき」）総合対策事業費	新規事業
予算書項目	鳥取市戦略的園芸品目（イチゴ「とっておき」）総合対策事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業の生産現場では、産地競争力の強化が求められており、より高収益な施設園芸品目等への転換や規模拡大の取組が急務となっており、その中において、イチゴは生食用の需要の増加による高価格での取引が増加するなど、有望な品目となっている。		
目 農業振興費	平成30年10月に県オリジナル品種のイチゴ「とっておき」が品種登録されたことから、「とっておき」を核としたイチゴ産地化を強力に推進し、農業生産額並びに農業所得の拡大を図る。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 鳥取県の戦略的園芸品目（イチゴ「とっておき」）総合対策事業を活用し、高設栽培設備等の施設整備を支援することで、生産基盤の強化を図り、「とっておき」の安定供給と産地化を目指す。		
前年度当初予算額	0	【事業の内容】 生産・技術向上支援事業 補助率1/2（県1/3・市1/6） 補助上限：525千円 ①光合成促進機の導入（六反田） 219千円 ②炭酸ガス局所施用機の導入（賀露） 525千円	
本年度要求額	744	【事業の実績】 令和3年度 11,119千円 令和4年度 1,073千円 令和5年度 684千円（見込）	
総務部長段階査定額	744	【事業の内容】	
市長段階査定額	744	生産・技術向上支援事業 補助率1/2（県1/3・市1/6） 補助上限：525千円 ①光合成促進機の導入（六反田） 219千円 ②炭酸ガス局所施用機の導入（賀露） 525千円	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	国・県支出金 496	令和3年度 11,119千円 令和4年度 1,073千円 令和5年度 684千円（見込）	
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 248		
	計 744		
備考欄			

農013	項目名	鳥の農場文化交流創造事業費	新規事業
予算書項目	鳥の農場文化交流創造事業費		ページ 241
年度	R6		所 属 名 農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2202 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 NPO法人「鳥の劇場」は、「鳥の演劇祭」を毎年開催し、本市の文化芸術の振興や、劇場を中心とした賑わい創出に寄与している。 本市は、鳥の劇場、鳥取県、地域住民などと連携し、舞台芸術を活用した地域の活性化を推進している。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 鳥の劇場と連携し、農業への理解と地域への愛着を深める新たな機会の創出を図る。また県内外における公演とあわせてマルシェを開催し、地元農産物を積極的にPRし知名度アップを図ることで、本市農業の生産振興及び販路拡大につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①鳥の農場舞台公演委託事業 農政課題（みどり戦略：有機農業）をテーマとしたワークショップ及び舞台公演 一式 1,000千円 ②鳥の農場舞台マルシェ委託事業 公演にあわせマルシェ及び食材提供含む農産物販促等 一式 1,000千円 ③鳥の6次化新商品開発支援 地域の特産品で新商品を開発、キャストを通じて広く新商品PRの実施 一式 1,000千円		
前年度当初予算額 3,000	【事業の実績】 令和5年度 3,000千円（見込）		
本年度要求額 3,000	【事業の内容】		
総務部長段階査定額 3,000	①鳥の農場舞台公演委託事業 農政課題（みどり戦略：有機農業）をテーマとしたワークショップ及び舞台公演 一式 1,000千円		
市長段階査定額 3,000	②鳥の農場舞台マルシェ委託事業 公演にあわせマルシェ及び食材提供含む農産物販促等 一式 1,000千円		
区分 本年度予算額	③鳥の6次化新商品開発支援 地域の特産品で新商品を開発、キャストを通じて広く新商品PRの実施 一式 1,000千円		
財源内訳	【事業の実績】 令和5年度 3,000千円（見込）		
国・県支出金 1,500	【事業の内容】		
地方債 0	①鳥の農場舞台公演委託事業 農政課題（みどり戦略：有機農業）をテーマとしたワークショップ及び舞台公演 一式 1,000千円		
その他 0	②鳥の農場舞台マルシェ委託事業 公演にあわせマルシェ及び食材提供含む農産物販促等 一式 1,000千円		
一般財源 1,500	【事業の実績】 令和5年度 3,000千円（見込）		
計 3,000	【事業の内容】		
備考欄	【事業の実績】 令和5年度 3,000千円（見込）		

農014	項目名	畑地化促進支援事業費	新規事業 ○
予算書項目	畑地化促進支援事業費		ページ 241
年度	R6		所 属 名 農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 主食用米の生産調整により、水稻以外の品目として主に麦・大豆・ソバや多収品種の飼料用米等への作付転換を定着させていくため、主に中山間地域において畑作物の産地づくりや農地利用の団地化により生産性を高めるとともに、5年水張ルールにより水田・畑地など維持用途によっては令和9年度以降減額見込みの水活直交付金に頼ることなく農地の維持・管理と生産者の所得の向上を図る必要がある。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 畑作物の産地づくりに取組む地域を対象に、団地化やブロックローテーションの体制構築等、モデル的に調整する会議を構築し、交付対象水田若しくは畑地化として維持するの か見極め主に中山間地域における産地づくりと農地保全についてモデル的に実証する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①団地化・ブロックローテーションに向けた関係者間の農地利用調整 ②団地化・ブロックローテーションの実施に向けたほ場調査 ③畑地化による畑作物の収量向上等実証・分析 ④体系構築のための実証栽培 (対象者) 地域農業再生協議会（市内中山間地域2～3地区） (補助率) 定額 10/10 (補助上限) 3,000千円 ※畑地化促進事業補助金を充当		
前年度当初予算額 0	【事業の実績】		
本年度要求額 3,000	【事業の内容】		
総務部長段階査定額 3,000	①団地化・ブロックローテーションに向けた関係者間の農地利用調整		
市長段階査定額 3,000	②団地化・ブロックローテーションの実施に向けたほ場調査		
区分 本年度予算額	③畑地化による畑作物の収量向上等実証・分析		
財源内訳	④体系構築のための実証栽培 (対象者) 地域農業再生協議会（市内中山間地域2～3地区） (補助率) 定額 10/10 (補助上限) 3,000千円 ※畑地化促進事業補助金を充当		
国・県支出金 3,000	【事業の実績】		
地方債 0	【事業の内容】		
その他 0	①団地化・ブロックローテーションに向けた関係者間の農地利用調整		
一般財源 0	②団地化・ブロックローテーションの実施に向けたほ場調査		
計 3,000	③畑地化による畑作物の収量向上等実証・分析		
備考欄	④体系構築のための実証栽培 (対象者) 地域農業再生協議会（市内中山間地域2～3地区） (補助率) 定額 10/10 (補助上限) 3,000千円 ※畑地化促進事業補助金を充当		

農015	項目名	畜産振興対策事業費	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費		ページ 241
年度	R6		所 属 名
			農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 TPPや日EU・EPA（日EU経済連携協定）の影響が懸念される畜産業において、畜産農家が持続的に安定生産が行えるよう、経営力強化につながる支援が求められている。		
目 畜産業費	【事業の目的及び効果】 優良な牛を育てる農家を支援することで畜産振興及び鳥取和牛のブランド力を高め、より一層の消費拡大を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 肉用牛放牧奨励事業（補助率：1/10） 公共放牧場に放牧される繁殖牛の放牧料の一部を助成する。 (2) 肥育素牛安定導入対策事業（補助率：1/6） JAが肥育農家に肥育を目的として素牛を貸し付けた場合、導入から出荷までの利息の一部を助成する。 (3) 肉用牛・乳用牛経営体質強化対策事業（補助率：1/20） 配合飼料の購入にあたり、当該年度の輸入原料平均価格と直近3ヶ年度の輸入原料平均価格との差額を補填する。		
前年度当初予算額	4,100	【事業の実績】 令和3年度 3,292千円 令和4年度 4,092千円 令和5年度 4,100千円（見込）	
本年度要求額	4,882		
総務部長段階査定額	4,882	【事業の内容】 (1) 肉用牛放牧奨励事業（補助率：1/10） 公共放牧場に放牧される繁殖牛の放牧料の一部を助成する。 (2) 肥育素牛安定導入対策事業（補助率：1/6） JAが肥育農家に肥育を目的として素牛を貸し付けた場合、導入から出荷までの利息の一部を助成する。 (3) 肉用牛・乳用牛経営体質強化対策事業（補助率：1/20） 配合飼料の購入にあたり、当該年度の輸入原料平均価格と直近3ヶ年度の輸入原料平均価格との差額を補填する。	
市長段階査定額	4,882	【事業の実績】 令和3年度 3,292千円 令和4年度 4,092千円 令和5年度 4,100千円（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 (1) 肉用牛放牧奨励事業（補助率：1/10） 公共放牧場に放牧される繁殖牛の放牧料の一部を助成する。 (2) 肥育素牛安定導入対策事業（補助率：1/6） JAが肥育農家に肥育を目的として素牛を貸し付けた場合、導入から出荷までの利息の一部を助成する。 (3) 肉用牛・乳用牛経営体質強化対策事業（補助率：1/20） 配合飼料の購入にあたり、当該年度の輸入原料平均価格と直近3ヶ年度の輸入原料平均価格との差額を補填する。	
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 3,292千円 令和4年度 4,092千円 令和5年度 4,100千円（見込）	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	4,882		
計	4,882		
備考欄			

農016	項目名	和牛再生促進事業費	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費		ページ 241
年度	R6		所 属 名
			農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 現在、鳥取和牛のブランド化・生産拡大を図ろうと農家の繁殖雌牛の増頭を進め、和子牛の生産及び肉牛の出荷頭数の増加に取り組んでいる。令和2年度には「鳥取県産和牛の保護及び振興に関する条例」が制定され、生産から流通及び販売までを「和牛産業」に位置づけたことを受け、さらに和牛を本市の基幹産業として基盤強化する必要がある。		
目 畜産業費	【事業の目的及び効果】 畜産を取巻く経営環境が依然として厳しい今、優良繁殖雌牛導入支援を行うことで、将来的に生産者の経営体質を強化するとともに、本市における和牛ブランド力の向上を図り、鳥取和牛の販路拡大につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 繁殖雌牛導入に伴う助成支援 R6事業費 5,384千円（外部導入4頭、自家保留4頭） 国：1,400千円、県：861千円、市：431千円 ※国加速化奨励金を活用		
前年度当初予算額	2,982	【事業の実績】 令和3年度 4,457千円 令和4年度 3,133千円 令和5年度 1,475千円（見込）	
本年度要求額	1,292		
総務部長段階査定額	1,292	【事業の内容】 繁殖雌牛導入に伴う助成支援 R6事業費 5,384千円（外部導入4頭、自家保留4頭） 国：1,400千円、県：861千円、市：431千円 ※国加速化奨励金を活用	
市長段階査定額	1,292	【事業の実績】 令和3年度 4,457千円 令和4年度 3,133千円 令和5年度 1,475千円（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 繁殖雌牛導入に伴う助成支援 R6事業費 5,384千円（外部導入4頭、自家保留4頭） 国：1,400千円、県：861千円、市：431千円 ※国加速化奨励金を活用	
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 4,457千円 令和4年度 3,133千円 令和5年度 1,475千円（見込）	
国・県支出金	861		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	431		
計	1,292		
備考欄			

農017	項目名	鳥取地どりブランド生産拡大支援事業費補助金	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 「鳥取地どりピヨ」は、市場関係者から高い評価を得ていたものの生産・食鳥処理・販売を行ってきた(株)ふるさと鹿野での事業継続が困難となり、その後、平成30年12月に設立された(株)鹿野地鶏が事業を引き継ぎ、新体制のもとで出荷・販売を行っている。		
目 畜産業費	【事業の目的及び効果】 地どり事業の実施に必要な食鳥処理に係る人材育成などを支援し、鳥取地どりブランドのより一層のブランド化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・啓発宣伝支援 ・食鳥処理技術向上支援（講習会の受講、外部講師招聘経費支援）		
前年度当初予算額	5,940	【事業の実績】 令和3年度 2,784千円 令和4年度 2,023千円 令和5年度 5,940千円（見込）	
本年度要求額	2,302		
総務部長段階査定額	2,302	【事業の内訳】	
市長段階査定額	2,302	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈入金 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 2,302		
	計 2,302		
備考欄			

農018	項目名	農地集積等対策事業費	新規事業
予算書項目	地域農政推進対策事業費	ページ	243
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 平成24年度から市内の各集落を対象として、将来の農業の在り方を示した「人・農地プラン」を作成していたが、令和5年度の法改正により「地域計画」の作成へと移行した。また、平成26年度から国の農地中間管理事業が開始され、農地集積・集約化が進められている。		
目 農業構造改善事業費	【事業の目的及び効果】 「地域計画」を活用して合意形成を図りつつ、農地中間管理機構への農地の貸付、担い手への転貸を行うことで、地域の担い手への農地の利用調整を推進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①地域計画策定推進緊急対策事業 地域連携推進事務員活動費 人件費（会計年度任用職員1名）及び事務費 ②農地集積・集約化対策事業 機構集積協力金 2,200千円（集積に協力する面積22ha） ③農地中間管理事業 農地中間管理事業推進員活動費 人件費（会計年度任用職員2名）及び事務費 ④農地流動化推進事業費補助金 補助金 5,000千円（一定期間の賃借権設定を行った認定農業者へ補助）		
前年度当初予算額	12,312	【事業の実績】 令和3年度 8,788千円 令和4年度 8,857千円 令和5年度 12,312千円（見込）	
本年度要求額	15,577	※その他財源の諸収入は、中間管理事業事務受託収入	
総務部長段階査定額	14,077	【事業の内訳】 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈入金 5,158 その他 0	
市長段階査定額	14,077		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 3,140		
	地方債 0		
	その他 5,158		
	一般財源 5,779		
	計 14,077		
備考欄			

農019	項目名	中山間地域を支える水田農業支援事業補助金	新規事業
------	-----	----------------------	------

予算書項目	意欲ある担い手支援事業費	ページ	243
-------	--------------	-----	-----

所属名	農林水産部 農政企画課
-----	----------------

年度	R6
----	----

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業構造改善事業費

事業の概要

【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305

【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略

【事業の経過及び背景】
中山間地域では、認定農業者等ではないが小規模な集落単位等で地域の水田農業を支えている農業者が数多いため、地域の水田農業を支える農業者を育成するとともに、地域の水田農業の維持・発展を図っている。

【事業の目的及び効果】
認定農業者、集落営農組織、集落営農組織の構成員又は認定新規就農者以外の農業者で地域の水田農業の維持・発展を図るために必要な機械導入を支援する。

【事業の内容】
令和5年台風第7号により流失被害を受けた農業用機械の再取得に必要な経費を支援する。
補助率1/2（県1/3・市1/6） 補助上限額3,000千円

令和6年度実施予定
河原（1件） 3,000千円

【事業の実績】
令和3年度 0千円
令和4年度 0千円
令和5年度 0千円（見込）

(単位：千円)

前年度当初予算額	2,709
----------	-------

本年度要求額	8,500
--------	-------

総務部長段階査定額	3,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	3,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0

備考欄	
-----	--

農020	項目名	大規模飼料作経営基盤強化対策事業費	新規事業
------	-----	-------------------	------

予算書項目	湖山池汽水湖化に対応した大規模飼料作経営安定化推進事業費	ページ	243
-------	------------------------------	-----	-----

所属名	農林水産部 農政企画課
-----	----------------

年度	R6
----	----

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業構造改善事業費

事業の概要

【問合せ先】 農政係 0857-30-8302

【1次総の施策体系】 2104

【事業の経過及び背景】
湖山池の水質浄化に向けた塩分導入の開始に伴い、将来的に湖山池周辺での農業・農地を維持する取組として、湖山池の水を利用しない飼料作物（牧草）が導入されている。牧草地は、地力劣化や雑草混入等による収穫量減少や品質低下を防ぐため、5年に1度の周期で農地の更新（除草・耕耘・施肥・播種）を行っている。令和4～5年度にかけ4地区（瀬、西桂見、三津、福井）で農地の更新を実施した。

【事業の目的及び効果】
湖山池周辺の牧草営農組合が牧草の収穫量・品質維持のために行う農地の更新及び新規造成の取組を支援する。これにより湖山池周辺における営農の継続、耕作放棄地の発生防止、自然環境の保全等に寄与する。

【事業の内容】
牧草営農組合が実施する土壌改善及び多年生牧草の播種に要する経費を補助する。
事業主体：各地区牧草営農組合（三津・福井）
事業費：1,300千円（県1/2、市1/2）
対象面積：2.0ha（三津、福井ほ場）

【事業の実績】
令和3年度 0千円
令和4年度 7,112千円 瀬15.0ha
令和5年度 7,954千円（見込） 瀬 8.7ha 西桂見2.9ha 三津3.6ha 福井1ha

(単位：千円)

前年度当初予算額	7,954
----------	-------

本年度要求額	1,300
--------	-------

総務部長段階査定額	1,300	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,300	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0

備考欄	
-----	--

農021	項目名	野生鳥獣被害防止事業費	新規事業
予算書項目	野生鳥獣被害防止事業費		ページ 245
年度	R6		所 属 名 農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 野生鳥獣による農作物被害が増加傾向にある。また、有害鳥獣の駆除を委託している狩猟免許所持者が高齢化により減少している。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 イノシシ等の被害防止対策に必要な補助金を交付することにより、農林業者が安心して農林業の生産活動を行えるようにし、もって本市農林業の振興を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額 105,703	①有害鳥獣駆除実施事業費 負担割合：県1/3、市2/3 銃器、わな等による有害鳥獣（イノシシ、カラス等）駆除		
本年度要求額 138,651	②侵入防止施設整備事業費 負担割合：県1/3、市1/3（地元1/3） ※非農家 市1/2（地元1/2） イノシシ侵入防止柵（ワイヤーメッシュ・電気柵）		
総務部長段階査定額 114,090	その他財源の内訳	③イノシシ等捕獲奨励金 負担割合：県1/2、市1/2	
市長段階査定額 114,090	分担金 0	④イノシシ・シカ捕獲奨励金（緊急捕獲）（6,200頭 国定額 市補填1,503千円）	
	負担金 0	⑤免許取得促進事業 負担割合：県1/3、市2/3	
	使用料 0	⑥鳥取市鳥獣害対策協議会支援事業 負担割合：市1/3（国1/2、地元1/6） 侵入防止柵整備（捕獲器49基ほか）	
	手数料 0	⑦イノシシ解体処理施設維持管理費 負担割合：市10/10 需用費（燃料費、光熱水費、消耗品費）	
	財産収入 0	⑧新規銃砲取得者の育成、捕獲技術の向上対策事業県1/3、市2/3	
	寄付金 0	⑨捕獲確認を適切且つ迅速に対応するため会計年度任用職員を雇用する。	
	繰入金 0	⑩鳥獣害対策システム整備事業 市10/10	
	収入 0	【事業の実績】	
	その他 0	令和3年度 95,554千円	
		令和4年度 79,716千円	
		令和5年度 105,885千円（見込）	
備考欄			

農022	項目名	減容化施設管理運営費	新規事業
予算書項目	野生鳥獣被害防止事業費		ページ 245
年度	R6		所 属 名 農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 野生鳥獣による農作物被害が増加傾向にある中、捕獲による個体数削減に取り組んでいる。捕獲後の個体は、埋設・焼却・食用の方法により処理してきたが、令和4年度より、焼却に代わり減容化処理を行うこととし、令和3年度に減容化処理施設を旧国府町クリーンセンター内に整備し、令和4年4月より稼働させている。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 減容化施設を運営することで、捕獲個体の処理に係る労力を軽減させ、不法投棄を防止し、環境面への配慮を図るとともに、捕獲効率の向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額 19,065	減容化処理施設		
本年度要求額 24,731	減容化処理設備2基稼働（人件費、需用費等） ※1日当りの処理能力 約240kg（イノシシ、シカで約10頭分）		
総務部長段階査定額 21,557	その他財源の内訳	【事業の実績】	
市長段階査定額 21,557	分担金 0	令和4年度 16,639千円 持込頭数 イノシシ639頭 シカ1,315頭 その他306頭	
	負担金 0	令和5年度 20,717千円（見込） 持込頭数 イノシシ695頭 シカ1,311頭 その他213頭	
	使用料 0		
	手数料 0		
	財産収入 0		
	寄付金 0		
	繰入金 0		
	収入 0		
	その他 0		
備考欄			

農023	項目名	射撃場管理運営費	新規 事業
予算書項目	射撃場管理運営費		ページ 245
年度	R6		所 属 名 農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 鳥取クレー射撃場は、野生鳥獣対策を担う銃猟者のさらなる養成を目指し成28年9月に再開したが、銃猟者の減少には歯止めがかからず、野生鳥獣による農作物被害も増加傾向が続いている。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 射撃場の適切な管理運営を行うことで、銃猟者の着実な育成・確保を進め、捕獲強化による農作物被害の軽減を図る。 また、旧射撃場の鉛弾により汚染された周辺山林部分の汚染土の除去を行い、環境改善を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 施設概要 ・敷地面積：11,240㎡ ・トラップ射場、スキート射場：各1面（鉛弾飛散防止ネット設置） ・管理棟：1棟		
前年度当初予算額 18,789	【事業の実績】 令和3年度 181,371千円 延利用者数 1,041名 令和4年度 10,701千円 延利用者数 1,081名 令和5年度（見込） 15,086千円 延利用者数 815名		
本年度要求額 53,968	※その他財源の負担金は、東部4町負担金 ※その他財源の使用料は、クレー射撃場使用料、自動販売機設置による行政財産使用料 ※その他財源の手数料は、教習射撃受講料 ※その他財源の諸収入は、鳥取クレー射撃場自動販売機電気代		
総務部長段階査定額 51,232	その他財源の内訳		
市長段階査定額 51,232	分担金 0		
	負担金 3,467		
	使用料 2,710		
	手数料 416		
	財産収入 0		
	寄付金 0		
	繰入金 0		
	諸収入 14		
	その他 0		
区分 本年度予算額			
財源内訳 国・県支出金 0			
地方債 0			
その他 6,607			
一般財源 44,625			
計 51,232			
備考欄			

農024	項目名	市行造林維持管理費	新規 事業
予算書項目	市行造林維持管理費		ページ 245
年度	R6		所 属 名 農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 市行造林、市有林の適正な森林管理が必要なため。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林経営計画（令和5年～令和9年度）に基づき、市行造林、市有林の保育、間伐材生産等の適正な森林整備を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①森林国営保険料（359.40ha） 2,230千円 ②委託料 ・用瀬川中市行造林（間伐搬出 4.59ha） 8,286千円 ・佐治栃原市行造林（間伐搬出 5.42ha） 19,207千円 ・鹿野河内市有林（間伐搬出 6.41ha・間伐切捨 1.14ha） 5,244千円 ・青谷澄水市行造林（間伐切捨 9.07ha） 4,977千円 ・青谷桑原市行造林（間伐搬出 6.57ha） 8,181千円 ※その他の事業費は事務費等		
前年度当初予算額 34,097	【事業の実績】 令和3年度 3,857千円 令和4年度 27,755千円 令和5年度 3,999千円（見込）		
本年度要求額 48,142	※その他財源の財産収入は、立木売却収入 ※その他財源の繰入金は、市行造林基金繰入金		
総務部長段階査定額 48,142	その他財源の内訳		
市長段階査定額 48,142	分担金 0		
	負担金 0		
	使用料 0		
	手数料 0		
	財産収入 10,896		
	寄付金 0		
	繰入金 7,116		
	諸収入 0		
	その他 0		
区分 本年度予算額			
財源内訳 国・県支出金 23,013			
地方債 0			
その他 18,012			
一般財源 7,117			
計 48,142			
備考欄			

農025	項目名	林業労働者確保育成対策事業負担金	新規事業
予算書項目	林業労働者確保育成対策事業費	ページ	245
年度	R6	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り、林業の発展に資することを目的として林業労働者に対する共済事業を行うため、鳥取県林業担い手育成財団が設立され、鳥取県、市町村が助成をしながら林業労働者の共済事業を行っているもの。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林整備の担い手である林業労働者を育成確保するため（公財）鳥取県林業担い手育成財団が実施する森林整備担い手育成総合対策事業（林業労働者の共済年金掛金等の一部助成）に要する経費を助成する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 事業主体：（公財）鳥取県林業担い手育成財団 事業費：1,580千円		
前年度当初予算額	1,712	【事業の実績】 令和3年度 1,554千円 令和4年度 1,401千円 令和5年度 1,712千円（見込）	
本年度要求額	1,580	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
総務部長段階査定額	1,580	【事業の内容】 事業主体：（公財）鳥取県林業担い手育成財団 事業費：1,580千円	
市長段階査定額	1,580	【事業の実績】 令和3年度 1,554千円 令和4年度 1,401千円 令和5年度 1,712千円（見込）	
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金 0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	1,580	使用料	0
一般財源	0	手数料	0
計	1,580	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	1,580
		贈収金	0
		その他	0
備考欄			

農026	項目名	林業労働者雇用条件改善事業費	新規事業
予算書項目	林業労働者雇用条件改善事業費	ページ	245
年度	R6	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 林業労働者の高齢化により、担い手不足が進んでいる。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 林業事業体が雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金（農林年金）の事業主負担に対し経費の一部を助成する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 概要 健康保険・農林年金に係る負担補助 事業主体：鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、智頭町森林組合、株式会社樹林業ほか 補助対象：29人 事業費：12,908千円 負担割合：県 1/4、市 1/4、事業主体 1/2		
前年度当初予算額	6,174	【事業の実績】 令和3年度 5,052千円 26人 令和4年度 4,703千円 28人 令和5年度 6,174千円（見込） 26人	
本年度要求額	6,454		
総務部長段階査定額	6,454	その他財源の内訳	
市長段階査定額	6,454	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳	国・県支出金 3,226	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	3,228	寄付金	0
計	6,454	繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
備考欄			

農027	項目名	林業新規就業者支援対策事業費	新規事業
予算書項目	林業労働者雇用条件改善事業費	ページ	245
年度	R6	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 森林資源が充実し、間伐や主伐・再造林等の事業量の増大が見込まれる中、若者を中心とする新規就業者の確保及び育成が喫緊の課題となっている。新規就業者を一人前の現場技能者として育成するには少なくとも5年程度必要とされているが、育成に係る費用は事業体にとっては負担が大きいため、研修等に要する経費を新規就業者に求めることも多く、新規採用が抑制される要因の1つとなっている。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 意欲ある林業就業者が負担なく研修を行うため、国が実施する「緑の雇用」事業による研修に必要な道具や装備の購入にかかる費用の助成に嵩上げをすることで、林業事業体が採用する新規就業者を増加させ、本市の林業振興を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 国の「緑の雇用」事業によるフォレストワーカー研修1年目の研修生に対し、道具や装備の購入にかかる費用を嵩上げ助成する。 補助率：2/3 補助対象：5名 研修準備費（道具購入費）、資材費（装備購入費）		
前年度当初予算額 534	【事業の実績】 令和3年度 222千円 3名分 令和4年度 189千円 3名分 令和5年度 534千円（見込） 5名分		
本年度要求額 334	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金		
総務部長段階査定額 334	【その他財源の内訳】		
市長段階査定額 334	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	334	
	贈収金	0	
	その他	0	
区分 本年度予算額	備考欄		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	334	
	一般財源	0	
	計	334	

農028	項目名	森林経営管理事業費	新規事業
予算書項目	森林経営管理事業費	ページ	245
年度	R6	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 戦後造成された人工林が主伐期を迎えようとしている一方、所有者の高齢化、零細化により経営・管理が行きとどいていない森林が増加している。このため、新たな経営管理システムを構築すべく、「森林経営管理法」が平成30年5月に制定された。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林所有者が自ら経営・管理を実行できない場合、市町村が経営管理を受託し、意欲と能力のある林業経営者への再委託もしくは市町村が自ら管理することにより、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を図る。なお、本事業は森林環境譲与税を財源としている。		
(単位：千円)	【事業の内容】 森林経営管理を推進するために必要な意向調査や森林境界の確認、経営管理権集積計画(案)の作成を実施。 ①森林境界候補図作成 1地区(用瀬町) ②森林境界明確化 3地区(用瀬町、青谷町) ③意向調査 1地区(佐治町) ④集積計画 2地区(佐治町) ⑤市町村管理 1地区(青谷町)		
前年度当初予算額 79,025	【事業の実績】 令和3年度 4,474千円 令和4年度 46,279千円 令和5年度 47,241千円(見込)		
本年度要求額 73,512	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金		
総務部長段階査定額 73,512	【その他財源の内訳】		
市長段階査定額 73,512	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	73,512	
	贈収金	0	
	その他	0	
区分 本年度予算額	備考欄		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	73,512	
	一般財源	0	
	計	73,512	

農029	項目名	林道改良事業費	新規事業
予算書項目	林道維持管理事業費	ページ	245
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】 林務係 0857-30-8311	
款	農林水産業費	【11次総の施策体系】 2104	
項	林産業費	【事業の経過及び背景】 効率的な森林施業の促進を図るため、森林所有者から林業機械の利用に対応することができる林道の改良が要望されている。	
目	林業振興費	【事業の目的及び効果】 林業機械での施業に対応するため林道の改良・舗装を行い、安全な交通を確保し、効率的な森林施業の促進を図る。	
(単位：千円)		【事業の内容】	
前年度当初予算額	23,760	○林道橋梁修繕調査設計 3,400千円 (小畑谷線1号基ほか1基)	
本年度要求額	19,660	○林道毛無山線測量設計 L=100m(改良) 16,000千円	
総務部長段階査定額	19,660	【事業の実績】	
市長段階査定額	19,660	令和3年度 43,509千円 令和4年度 6,281千円 令和5年度 28,260千円(見込)	
区分	本年度予算額	【事業の内訳】	
財源内訳		分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈入金 0 その他 0	
国・県支出金	10,500		
地方債	9,100		
その他	0		
一般財源	60		
計	19,660		
備考欄			

農030	項目名	造林事業費	新規事業
予算書項目	造林事業費	ページ	245
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】 林務係 0857-30-8311	
款	農林水産業費	【11次総の施策体系】 2104	
項	林産業費	【事業の経過及び背景】 木材価格の低迷、林家の高齢化などにより、適切な森林経営・管理がいきとどいていない森林が増加している。	
目	林業振興費	【事業の目的及び効果】 適正な森林造成計画を計画的かつ効果的に推進するために必要な補助金を交付し、もって本市林業の振興を図る。	
(単位：千円)		【事業の内容】	
前年度当初予算額	27,960	○事業費	
本年度要求額	45,458	間伐・竹林林種転換・クヌギ造林補助 19,229千円 花粉発生源対策 14,986千円 シカ進入防護柵設置(17.820m) 7,159千円 シカ防護柵の点検(74.828km) 4,084千円	
総務部長段階査定額	45,458	○補助率	
市長段階査定額	45,458	間伐：(普通林)10%、(保安林)5%、※地元負担15% センダン・カラマツ・コウヨウザン造林：10% ※地元負担5% クヌギ造林：10%、花粉発生源対策促進事業：9% シカ進入防護柵設置：10% シカ防護柵の点検・維持管理経費：定額15,000円/km	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和3年度 13,699千円 間伐・竹林林種転換他 241.25ha 令和4年度 28,382千円 間伐・竹林林種転換他 293.03ha 令和5年度 35,217千円(見込) 間伐・クヌギ造林他 369.70ha	
国・県支出金	2,722	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
地方債	13,100		
その他	29,636		
一般財源	0		
計	45,458		
備考欄			

農031	項目名	間伐搬出支援事業費	新規事業
予算書項目	造林事業費	ページ	245
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 県産材の有効利用を目的とし、鳥取県の補助金に嵩上げすることで、森林施策の促進を図る。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 間伐施業の促進と間伐材の利用拡大を図るため、間伐材搬出支援を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 間伐材搬出支援（1立米あたり500円を補助） 搬出量37,925立米×500円=18,963千円		
前年度当初予算額	19,635	【事業の実績】 令和3年度 17,008千円 令和4年度 16,646千円 令和5年度 21,975千円（見込）	
本年度要求額	18,963		
総務部長段階査定額	18,963	【事業の内訳】	
市長段階査定額	18,963	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈入金 0 その他 0	
区 分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 18,963		
	計 18,963		
備考欄			

農032	項目名	豊かな森づくり推進事業費	新規事業
予算書項目	造林事業費	ページ	245
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 拡大する竹対策として、鳥取県豊かな森づくり協働税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し、竹林整備に取り組む。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 適正な管理ができていない竹林の抜き伐り等に対し補助を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 負担区分 鳥取県竹林整備事業費補助金（豊かな森づくり協働税を活用） 補助率 県 80% 市 5% 抜き伐り、搬出 10.4ha 55,071千円（内訳：県44,158千円 市2,757千円）		
前年度当初予算額	28,465	【事業の実績】 令和3年度 18,360千円 5.66ha（抜き伐り） 令和4年度 17,742千円 4.80ha（抜き伐り、搬出） 令和5年度 17,673千円（見込） 4.46ha（抜き伐り、搬出）	
本年度要求額	46,915	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
総務部長段階査定額	46,915	【事業の内訳】	
市長段階査定額	46,915	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 2,757 贈入金 0 その他 0	
区 分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 44,158		
	地方債 0		
	その他 2,757		
	一般財源 0		
	計 46,915		
備考欄			

農033	項目名	単県斜面崩壊復旧事業費	新規事業
予算書項目	治山事業費	ページ	245
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 国庫補助事業（治山事業及び急傾斜地崩壊対策事業）及び単県急傾斜地崩壊対策事業の対象とならない荒廃林地及び急傾斜地において復旧事業を行い公共施設、人家等を保全するもの。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 大雨等により崩落した山腹を復旧し、家屋等への被害を防止する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 鳥取市金沢地区 4,500千円 鳥取市国府町神垣地区 6,000千円（測量設計業務） 鳥取市青谷町蔵内地区 4,500千円（測量設計業務） 鳥取市福部町海士地区 5,000千円（測量設計業務）		
前年度当初予算額 25,800	【事業の実績】 令和3年度 9,033千円 令和4年度 13,647千円 令和5年度 23,238千円（見込）		
本年度要求額 20,000	※その他財源の負担金は、地元負担金		
総務部長段階査定額 20,000	その他財源の内訳		
市長段階査定額 20,000	分担金	0	
	負担金	2,000	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈収入	0	
	その他	0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	9,000	
	地方債	8,900	
	その他	2,000	
	一般財源	100	
	計	20,000	
備考欄			

農034	項目名	森づくり作業道整備事業費	新規事業
予算書項目	森づくり作業道整備事業費	ページ	245
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 国・県の作業道補助事業とあわせて、作業道等整備事業に補助を行う。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 健全な森林の維持管理、作業コスト低減等を図るため、作業道等の整備を促進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①造林作業道整備の補助金 作業道整備（普通林） 28,600m 作業道整備（保安林） 26,300m 合計 54,900m ②林業専用道整備の補助金 林業専用道整備 2,450m		
前年度当初予算額 18,216	【事業の実績】 令和3年度 16,776千円 67路線 45,763m 林業専用道1路線 600m 令和4年度 11,415千円 58路線 47,082m、林業専用道3路線 1,093m 令和5年度 12,660千円（見込）		
本年度要求額 16,659	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金		
総務部長段階査定額 16,659	その他財源の内訳		
市長段階査定額 16,659	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	2,412	
	贈収入	0	
	その他	0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	2,412	
	一般財源	14,247	
	計	16,659	
備考欄			

農035	項目名	林業・木材産業強化総合対策事業費	新規事業
予算書項目	林業・木材産業強化総合対策事業費		ページ 247
年度	R6		所属名 農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 林産業費	【事業の経緯及び背景】 戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中、これらの森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を図ることが重要である。そのため、意欲と能力のある林業経営体を育成し、木材生産を通じた持続的な林業経営を確立するための高性能林業機械の導入支援等を行う必要がある。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 意欲と能力のある林業経営体に対し、原木を低コストで安定的に供給するための高性能林業機械の導入に対し支援を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・高性能林業機械の整備 フォワーダ 1台 27,170千円×1/2 =12,350千円(補助率1/2) フェラーバンチャー 1台 22,300千円×1/3 = 7,434千円(補助率1/3) ・林業機械リース支援 フォワーダ 1台 18,500千円×1/3 = 6,166千円(補助率1/3)		
前年度当初予算額 29,200	【事業の実績】 令和3年度 156,409千円 令和4年度 24,070千円 令和5年度 31,750千円(見込)		
本年度要求額 25,950	その他財源の内訳		
総務部長段階査定額 25,950	分担金	0	
市長段階査定額 25,950	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈収入	0	
	その他	0	
	計	25,950	
備考欄			

農036	項目名	森林産業イノベーション推進事業費	新規事業
予算書項目	林業・木材産業強化総合対策事業費		ページ 247
年度	R6		所属名 農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 林産業費	【事業の経緯及び背景】 戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中、これらの森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を図ることが重要である。そのためには、ICTやレーザ測量技術等の先進技術の林業への導入を進め、生産性の向上を図る必要がある。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 ICT等の先進技術を活用して、森林資源や森林境界情報の情報共有化とオープン化を進め、併せて新しい木材流通・販売の仕組みづくりを行うことで林業の成長産業化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 高性能ドローン(3台)の導入、操作研修や操縦資格取得支援		
前年度当初予算額 0	【事業の実績】 令和4年度 2,747千円 電子寸検システム、原木市場Web入札システムの導入支援 令和5年度 1,500千円(見込) 画像解析共有ソフト導入支援		
本年度要求額 10,000	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金		
総務部長段階査定額 10,000	その他財源の内訳		
市長段階査定額 10,000	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	10,000	
	贈収入	0	
	その他	0	
	計	10,000	
備考欄			

農037	項目名	危険木等事前伐採推進事業費	新規事業	○
------	-----	---------------	------	---

予算書項目	危険木等事前伐採推進事業費	ページ	247
-------	---------------	-----	-----

所属名	農林水産部 林務水産課
-----	----------------

年度	R6
----	----

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	林産業費
目	林業振興費

(単位：千円)

前年度当初予算額	0
----------	---

本年度要求額	5,500
--------	-------

総務部長段階査定額	5,500
-----------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	3,000
贈収金	0
その他	0

市長段階査定額	5,500
---------	-------

区分	本年度予算額
国・県支出金	2,500
地方債	0
その他	3,000
一般財源	0
計	5,500

備考欄	
-----	--

事業の概要

【問合せ先】 林務係 0857-30-8311

【1次総の施策体系】 2104

【事業の経過及び背景】
令和5年1月の大雪により倒木による孤立集落が発生した。倒木に起因する孤立集落を発生を未然に防止するため、手入れの行き届いていない森林の適正な管理の促進を図る必要がある。

【事業の目的及び効果】
災害、枯損、過度な成長等による倒伏等の危険性が高い樹木であり、かつ、倒伏等により孤立集落発生など住民生活へ大きな影響を及ぼす恐れのある危険木を予め伐採する経費を支援することにより、倒木に起因する集落の孤立・停電・通信障害等の発生による住民生活への影響の軽減及び森林所有者等による森林の適正な管理の推進を図る。

【事業の内容】
鳥取県等との現地確認において、事前伐採等が必要とされた危険木の伐採、除去、処分を行う森林所有者等に対し、県の補助事業を活用し支援を行う。
補助率 10/10
(鳥取県危険木等事前伐採推進事業補助金 補助率1/2、限度額1箇所あたり1,000千円)

【事業の実績】
令和5年度 550千円(見込) 伐倒1箇所

※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金

農038	項目名	水産資源維持増殖事業費	新規事業	
------	-----	-------------	------	--

予算書項目	水産資源維持増殖事業費	ページ	247
-------	-------------	-----	-----

所属名	農林水産部 林務水産課
-----	----------------

年度	R6
----	----

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	水産業費
目	水産業振興費

(単位：千円)

前年度当初予算額	12,270
----------	--------

本年度要求額	12,170
--------	--------

総務部長段階査定額	12,170
-----------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収金	5,685
その他	0

市長段階査定額	12,170
---------	--------

区分	本年度予算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	5,685
一般財源	6,485
計	12,170

備考欄	
-----	--

事業の概要

【問合せ先】 水産漁港係 0857-30-8312

【1次総の施策体系】 2104

【事業の経過及び背景】
千代川・湖山池は市民にとって身近な水辺空間であるとともに、内水面漁業の漁場であり、それらの機能維持を図るため、内水面漁業協同組合が行う放流に要する経費を助成してきた。

【事業の目的及び効果】
水産資源の維持増殖による内水面漁業の振興及び千代川・湖山池流域の地域振興やレクリエーション機会の増大に寄与する。

【事業の内容】
鮎などの内水面水産資源の維持増殖を図る放流事業等に対し助成する。
実施主体：千代川漁業協同組合、湖山池漁業協同組合、市
事業費：千代川流域 淡水魚放流事業等 11,740千円
ふれあい放流事業 30千円
湖山池流域 湖山池漁業振興対策事業 400千円

【事業の実績】

	(千代川流域)	(湖山池流域)	
令和3年度	11,550千円 3.73t	シジミ産卵場整備	一式
令和4年度	11,610千円 3.73t	シジミ産卵場整備	一式
令和5年度	11,630千円(見込) 3.73t	シジミ産卵場整備	一式

※その他財源の諸収入は、水道局負担金及び鳥取県魚の豊かな川づくり基金助成金

農039	項目名	鳥取かにフェスタ開催事業費補助金	新規事業
予算書項目	鳥取かにフェスタ開催事業費	ページ	247
年度	R6	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 市民はもとより県内外の方々に、賀露西浜地区の水産業を柱とする地域開発及び水産業の発展等をアピールするため、平成12年より「鳥取かにフェスタ」が開催されている。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 松葉がにの産地としての鳥取市を情報発信し、併せて地元水産業の振興を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 「鳥取かにフェスタ」開催経費への助成。 主催団体：鳥取かにフェスタ実行委員会 実施予定：令和6年11月 実施場所：鳥取港西浜地区 マリンピア賀露		
前年度当初予算額	600	【事業の実績】 令和3年度 新型コロナウイルス感染症流行を受け中止 令和4年度 新型コロナウイルス感染症流行を受け中止 令和5年度 600千円（見込）	
本年度要求額	600		
総務部長段階査定額	600	【事業の目的及び効果】 松葉がにの産地としての鳥取市を情報発信し、併せて地元水産業の振興を図る。	
市長段階査定額	600	【事業の内容】 「鳥取かにフェスタ」開催経費への助成。 主催団体：鳥取かにフェスタ実行委員会 実施予定：令和6年11月 実施場所：鳥取港西浜地区 マリンピア賀露	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和3年度 新型コロナウイルス感染症流行を受け中止 令和4年度 新型コロナウイルス感染症流行を受け中止 令和5年度 600千円（見込）	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	600		
計	600		
備考欄			

農040	項目名	漁港施設維持管理事業費	新規事業
予算書項目	漁港施設維持管理事業費	ページ	247
年度	R6	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 平成12年度、鳥取県から第1種漁港である岩戸漁港（福部町）、酒津漁港・船磯漁港（気高町）、夏泊漁港・長瀬漁港（青谷町）の5漁港が譲渡され、鳥取市管理の漁港は青谷漁港と併せて6漁港となった。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 第1種漁港の管理者として、漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 漁港施設維持管理（光熱水費、維持修繕費等）一式 ・福部地域 6,322千円 ・気高地域 23,429千円 ・青谷地域 18,222千円		
前年度当初予算額	52,253	【事業の実績】 令和3年度 57,241千円 令和4年度 50,275千円 令和5年度 51,442千円（見込）	
本年度要求額	47,973	※その他財源の使用料は、漁港施設占用料	
総務部長段階査定額	47,973		
市長段階査定額	47,973		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	5,015		
地方債	0		
その他	3,413		
一般財源	39,545		
計	47,973		
備考欄			

農041	項目名	栽培漁業推進支援事業費	新規事業
予算書項目	栽培漁業推進支援事業費		ページ 247
年度	R6		所 属 名 農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 本市は県と連携しながら栽培漁業を推進し、水産物の安定供給・地域振興に資するため、漁業者が行う種苗放流事業に助成してきた。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁場再生、漁業振興及び漁村の活性化のため、種苗放流等の経費を助成し漁獲量の増加を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ○種苗放流等 事業費 1,202千円（内市助成額536千円） アワビ23,100個、サザエ46,000個、キジハタ9,760尾		
前年度当初予算額 1,122	【事業の実績】 ○種苗放流等 令和3年度 1,094千円 令和4年度 1,109千円 令和5年度 1,122千円（見込） ○イワガキ岩盤清掃 令和3年度 646千円 1地区		
本年度要求額 1,202	その他の財源の内訳		
総務部長段階査定額 1,202	分担金	0	
市長段階査定額 1,202	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈入金	0	
	その他	0	
	計	1,202	
備考欄			

農042	項目名	漁港施設機能保全事業費	新規事業
予算書項目	漁港建設事業費		ページ 247
年度	R6		所 属 名 農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 平成12年度、鳥取県から第1種漁港である岩戸漁港（福部町）、酒津漁港・船磯漁港（気高町）、夏泊漁港・長瀬漁港（青谷町）の5漁港が譲渡され、鳥取市管理の漁港は青谷漁港と併せて6漁港となった。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 本市の第1種漁港は、近年、老朽化に伴い更新等が必要な漁港施設が増加している。施設の維持管理を体系的に捉え、計画的に更新することにより、施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化・縮減を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 漁港施設機能保全計画に定めた対策工事を実施する。 酒津・船磯漁港機能保全工事（水域施設） 84,600千円 夏泊漁港機能保全工事（水域施設） 4,500千円		
前年度当初予算額 85,700	【事業の実績】 令和3年度 80,794千円（現年 37,117千円 繰越 43,677千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 令和4年度 139,738千円（現年 50,210千円 繰越 89,528千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、酒津漁港機能増進工事 令和5年度 111,803千円（現年 85,700千円 繰越 26,103千円）（見込） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 酒津漁港機能保全計画見直し業務		
本年度要求額 89,440	その他の財源の内訳		
総務部長段階査定額 89,440	分担金	0	
市長段階査定額 89,440	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈入金	0	
	その他	0	
	計	89,440	
備考欄			

農043	項目名	港整備推進事業費	新規事業
予算書項目	漁港建設事業費	ページ	247
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 本市の第1種漁港は、近年、漁港施設の老朽化や航路泊地の埋塞による出漁機会の減少により、水産物の安定的な生産・流通に支障が生じ、地元市場や飲食店、道の駅等への影響が懸念されている。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 本市漁港及び近隣港湾・漁港（鳥取県・岩美町）を一体的に整備することにより、水産物の安定的な生産・流通及び利用者の利便性向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 地方創生港整備推進交付金地域再生計画に定めた対策工事を実施する。 酒津漁港照明施設改修工事ほか 11,600千円		
前年度当初予算額 5,920	【事業の実績】 令和5年度 5,920千円（見込） 酒津漁港照明施設改修工事		
本年度要求額 11,650			
総務部長段階査定額 11,650	その他財源の内訳		
市長段階査定額 11,650	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈収入	0	
	その他	0	
区分 本年度予算額	備考欄		
財源内訳 国・県支出金 5,800			
地方債 5,200			
その他 0			
一般財源 650			
計 11,650			

農044	項目名	漁業研修事業費	新規事業
予算書項目	漁業振興対策事業費	ページ	247
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 現在、漁業就労者は減少傾向にあり、また高齢化も進行していることから将来の漁業者の不足が懸念されている。また、新規に漁業への就業を希望する者はほとんど漁業経験がなく新たに漁業に従事するためには漁業技術の研修が必要である。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁業経営体・漁協等が漁業就業希望者に対し、漁業技術等の研修を実施することにより、新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 新規漁業就業希望者へ漁業技術や経営方法等習得のために行う研修に必要な費用を助成する。 事業実施主体：漁業経営体、漁協等 研修者：4名（雇成型3名、独立型1名／新規2名、継続2名） 事業費：7,379千円（県 6,468千円、市 911千円）		
前年度当初予算額 13,913	【事業の実績】 令和3年度 20,149千円 7名 令和4年度 14,974千円 9名 令和5年度 10,676千円（見込） 7名		
本年度要求額 7,379			
総務部長段階査定額 7,379	その他財源の内訳		
市長段階査定額 7,379	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈収入	0	
	その他	0	
区分 本年度予算額	備考欄		
財源内訳 国・県支出金 6,468			
地方債 0			
その他 0			
一般財源 911			
計 7,379			

農045	項目名	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】		新規 事業
予算書項目	過年発生災害復旧費	ページ	301	所 属 名
年度	R6	農林水産部 農林水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311			
款	災害復旧費	【1次総の施策体系】 2104		
項	災害復旧費	【事業の経過及び背景】 令和5年台風第7号の災害により、法面崩落等の被害を受けたため、早急な対応が必要となった。		
目	農林水産業施設災害復旧費	【事業の目的及び効果】 林道利用者の安全の確保及び林業経営への影響を最小限に抑えるため、早期に災害からの復旧を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 被災した林道に対し災害復旧事業を行う。			
前年度当初予算額	0	●林道鳥取中央線（鳥取市松上地内） 路側復旧工事 50,000千円		
本年度要求額	243,645	●林道鳥取中央線（鳥取市双六原地内） 路肩復旧工事 20,000千円		
総務部長段階査定額	243,645	●林道毛無山線（鳥取市矢矯地内） 路肩復旧工事 25,000千円		
市長段階査定額	243,645	●林道佐谷小畑線（鳥取市鹿野町河内地内） 路肩復旧工事 11,000千円		
区分	本年度予算額	●林道福地荒船線（鳥取市国府町荒舟地内） 法面復旧、路肩復旧工事 35,000千円		
財源内訳	国・県支出金 144,514	●林道若桜江府線ほか計7路線 測量設計業務 99,825千円		
地方債 98,700	その他 0			
一般財源 431	計 243,645			
備考欄				

農046	項目名	水道事業会計へ繰出		新規 事業
予算書項目	水道事業会計へ繰出	ページ	235	所 属 名
年度	R6	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 総務係 0857-30-8316			
款	衛生費	【1次総の施策体系】 2401		
項	他会計繰出	【事業の経過及び背景】 地方公営企業法に基づくもの及び簡易水道事業統合後の負担に関する繰出。		
目	水道事業会計へ繰出	【事業の目的及び効果】 一般会計からの繰出により鳥取市水道局の行う事業の下支えを図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 水道事業会計への繰出金 繰出金 1,053,522千円			
前年度当初予算額	1,114,752	【事業の実績】 令和3年度 944,622千円 令和4年度 1,120,618千円 令和5年度 1,114,752千円(見込)		
本年度要求額	1,053,522			
総務部長段階査定額	1,053,522			
市長段階査定額	1,053,522			
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金 0			
地方債 61,900	その他 0			
一般財源 991,622	計 1,053,522			
備考欄				

農047	項目名	環境保全型農業直接支払交付金		新規事業
予算書項目	環境保全型農業直接支払交付金		ページ	241
年度	R6		所 属 名	
			農林水産部 農村整備課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】総務係 0857-30-8316		
款	農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項	農業費	【事業の経過及び背景】 農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るため事業を実施。		
目	農業振興費	【事業の目的及び効果】 環境保全に効果の高い営農活動に対して支援することで、地球温暖化防止及び生物多様性保全を図る。		
(単位：千円)		【事業の内容】 有機農業または鳥取県が定める「鳥取県特別栽培慣行基準値」から原則5割以上の化学肥料・化学合成農薬を低減して行う営農活動を支援する。 ・鳥取市環境保全型農業直接支払交付金 対 象：12組織(8,956a) 交付額：6,633千円(国50%、県25%、市25%) ・事業推進事務費		
前年度当初予算額	7,356	【事業の実績】 令和3年度 6,590千円 令和4年度 6,827千円 令和5年度 5,604千円(見込)		
本年度要求額	6,743			
総務部長段階査定額	6,743	【事業の内容】 有機農業または鳥取県が定める「鳥取県特別栽培慣行基準値」から原則5割以上の化学肥料・化学合成農薬を低減して行う営農活動を支援する。 ・鳥取市環境保全型農業直接支払交付金 対 象：12組織(8,956a) 交付額：6,633千円(国50%、県25%、市25%) ・事業推進事務費		
市長段階査定額	6,743	【事業の実績】 令和3年度 6,590千円 令和4年度 6,827千円 令和5年度 5,604千円(見込)		
その他財源の内訳				
分担金	0			
負担金	0			
使用料	0			
手数料	0			
財産収入	0			
寄付金	0			
繰入金	0			
贈入金	0			
その他	0			
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	5,084		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	1,659		
	計	6,743		
備考欄				

農048	項目名	農道舗装補修等事業費		新規事業
予算書項目	農道舗装補修等事業費		ページ	241
年度	R6		所 属 名	
			農林水産部 農村整備課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款	農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項	農業費	【事業の経過及び背景】 農業の基礎的な生産基盤である農地の適切な保全管理や、老朽化した農道、用排水路等の農業用施設全般の整備・補修が求められている。		
目	農地費	【事業の目的及び効果】 農業用施設全般の適正な補修・修繕等をもって、農業環境の整備を行う。		
(単位：千円)		【事業の内容】 老朽化した農業用施設全般の整備及び補修を行う。 対象施設：農業用排水施設、農道、暗渠排水ほか 負担区分：県42.5%、市42.5%、地元15%		
前年度当初予算額	41,870	【事業の実績】 令和3年度 31,560千円 令和4年度 39,581千円 令和5年度 41,870千円(見込)		
本年度要求額	45,701	※その他財源の負担金は、地元負担金		
総務部長段階査定額	39,157			
市長段階査定額	39,157			
その他財源の内訳				
分担金	0			
負担金	3,331			
使用料	0			
手数料	0			
財産収入	0			
寄付金	0			
繰入金	0			
贈入金	0			
その他	0			
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	17,912		
	地方債	0		
	その他	3,331		
	一般財源	17,914		
	計	39,157		
備考欄				

農049	項目名	県営事業負担金	新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104 ●実施計画		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 鳥取県主体で土地改良事業が行われている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 事業費の一部を負担することで、事業の促進を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 県営土地改良事業に対する一部負担 ・ 県営ため池総合整備事業 41,580千円 ・ 県営特定農業用管路等特別対策事業 11,233千円 ・ 県営農業用河川工作物応急対策事業 9,200千円 ・ 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業 19,600千円		
前年度当初予算額 90,924	【事業の実績】 令和3年度 18,925千円 令和4年度 32,857千円 令和5年度 90,924千円(見込)		
本年度要求額 86,760			
総務部長段階査定額 81,613	その他財源の内訳		
市長段階査定額 81,613	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈収入	0	
	その他	0	
区分 本年度予算額	備考欄		
財源内訳 国・県支出金 0			
地方債 81,500			
その他 0			
一般財源 113			
計 81,613			

農050	項目名	排水機場維持管理費	新規事業
予算書項目	排水機場維持管理費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 洪水時の千代川下流域の水位上昇による農地冠水被害を防止するため、ポンプによる排水を行い農地の安全を図る。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 適切な排水施設の管理を行うことで、受益地の効率的な営農活動を支援する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 服部排水機場及び西門通寺排水機場の維持管理。 ・ 通水時の操作点検及び水位監視 ・ 洪水時、常駐による運転操作等の委託 ・ 施設の維持管理費、修繕費		
前年度当初予算額 17,030	【事業の実績】 令和3年度 16,253千円 令和4年度 13,579千円 令和5年度 17,030千円(見込)		
本年度要求額 13,978			
総務部長段階査定額 13,881	その他財源の内訳		
市長段階査定額 13,881	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈収入	0	
	その他	0	
区分 本年度予算額	備考欄		
財源内訳 国・県支出金 649			
地方債 0			
その他 0			
一般財源 13,232			
計 13,881			

農051	項目名	農業競争力強化基盤整備事業促進事業費	新規事業
予算書項目	県営事業促進事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】		
目 農地費	鳥取市の中山間地域では農家の高齢化・後継者不足が深刻であり、農地の耕作者が減少してきている。この地域に存する農地は、ほ場整備が未だなされておらず、農地の耕作放棄化が進行してしまうのではと懸念している。このため農業の合理化、効率化を図るために県営でほ場整備が進められている。一定の農地の集積が図られる場合、国と県から補助金が交付される担い手農地集積促進事業がある。本市はこの補助金を活用し、地元に対して補助金を交付することで地元負担の軽減を図る。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	0	対象となる地域で集落営農を立ち上げ集団的な農業に取り組むことを検討しているが、農地が狭小・不整形な場所については大規模機械等による効率的な営農が難しい。ほ場整備が現在、進められているが一定の農地の集積を行うことで国と県より補助金が交付される担い手農地集積促進事業を活用し、本市は地元で補助金を交付することで地元負担の軽減を図るとともに農地集積を積極的に推進する。	
本年度要求額	15,066	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	15,066	県営事業にて実施した土地改良区事業に伴う地元負担金を軽減するため、一部補助を実施する。	
市長段階査定額	15,066	・鳥取市農業経営高度化支援事業	
区分	本年度予算額	対 象：青谷町山根地区	
財源内訳	15,066	交付額：15,066千円（国55%、県45%）	
国・県支出金	15,066	【事業の実績】	
地方債	0	令和3年度 4,941千円	
その他	0	令和4年度 563千円	
一般財源	0	令和5年度 実績なし	
計	15,066	備考欄	
分担金	0		
負担金	0		
使用料	0		
手数料	0		
財産収入	0		
寄付金	0		
繰入金	0		
贈収入	0		
その他	0		

農052	項目名	多面的機能支払交付金	新規事業
予算書項目	多面的機能支払事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 農業費	【事業の経過及び背景】		
目 農地費	農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつある。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	218,387	地域で行う農地維持や農業用施設の点検等の共同活動に対して支援し、農村の有する多面的機能の発揮を促進する。	
本年度要求額	218,749	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	218,749	・多面的機能支払交付金補助金事業	
市長段階査定額	218,749	補助対象：138組織（290,186a）	
区分	本年度予算額	交 付 額：215,305千円	
財源内訳	218,749	（国50%、県25%、市25%）	
国・県支出金	164,914	・事業推進事務費（人件費、事務費）	
地方債	0	【事業の実績】	
その他	79	令和3年度 181,107千円	
一般財源	53,756	令和4年度 196,637千円	
計	218,749	令和5年度 218,387千円（見込）	
分担金	0	※その他財源の負担金は、多面的機能支払交付金町負担金	
負担金	79		
使用料	0		
手数料	0		
財産収入	0		
寄付金	0		
繰入金	0		
贈収入	0		
その他	0		
備考欄			

農053	項目名	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費		新規事業
予算書項目	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費		ページ	241
年度	R6		所 属 名	
			農林水産部 農村整備課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】総務係 0857-30-8316		
款	農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項	農業費	【事業の経過及び背景】 集落・地域だけでは農業生産基盤の維持管理が困難となってきた地域が増加しており、閉塞感も高まっている。		
目	農地費	【事業の目的及び効果】 集落・地域と自治会・企業等との協働による地域振興活動に対し、補助金を交付することで、農業・農村の保全意識を高める。		
(単位：千円)		【事業の内容】 鳥取市共生の里加速化促進事業 補助対象：国府町楠城、気高町殿、上段 交付額：600千円/年 財源：県2/3、市1/3		
前年度当初予算額	1,200	【事業の実績】 令和3年度 682千円 令和4年度 420千円 令和5年度 1,200千円（見込）		
本年度要求額	2,010			
総務部長段階査定額	1,800	【事業の内容】 鳥取市共生の里加速化促進事業 補助対象：国府町楠城、気高町殿、上段 交付額：600千円/年 財源：県2/3、市1/3		
		【事業の実績】 令和3年度 682千円 令和4年度 420千円 令和5年度 1,200千円（見込）		
市長段階査定額	1,800	【事業の内容】 鳥取市共生の里加速化促進事業 補助対象：国府町楠城、気高町殿、上段 交付額：600千円/年 財源：県2/3、市1/3		
		【事業の実績】 令和3年度 682千円 令和4年度 420千円 令和5年度 1,200千円（見込）		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 鳥取市共生の里加速化促進事業 補助対象：国府町楠城、気高町殿、上段 交付額：600千円/年 財源：県2/3、市1/3		
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 682千円 令和4年度 420千円 令和5年度 1,200千円（見込）		
国・県支出金	1,200	【事業の内容】 鳥取市共生の里加速化促進事業 補助対象：国府町楠城、気高町殿、上段 交付額：600千円/年 財源：県2/3、市1/3		
地方債	0	【事業の実績】 令和3年度 682千円 令和4年度 420千円 令和5年度 1,200千円（見込）		
その他	0	【事業の内容】 鳥取市共生の里加速化促進事業 補助対象：国府町楠城、気高町殿、上段 交付額：600千円/年 財源：県2/3、市1/3		
一般財源	600	【事業の内容】 鳥取市共生の里加速化促進事業 補助対象：国府町楠城、気高町殿、上段 交付額：600千円/年 財源：県2/3、市1/3		
計	1,800	【事業の内容】 鳥取市共生の里加速化促進事業 補助対象：国府町楠城、気高町殿、上段 交付額：600千円/年 財源：県2/3、市1/3		
備考欄		【事業の内容】 鳥取市共生の里加速化促進事業 補助対象：国府町楠城、気高町殿、上段 交付額：600千円/年 財源：県2/3、市1/3		

農054	項目名	農業水利施設保全高度化事業費		新規事業
予算書項目	農業水利施設保全高度化事業費		ページ	243
年度	R6		所 属 名	
			農林水産部 農村整備課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款	農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項	農業費	【事業の経過及び背景】 農業の基礎的な生産基盤である農地の適切な保全管理や、老朽化した農道、用排水路等の農業用施設全般の整備・補修が求められる。		
目	農地費	【事業の目的及び効果】 長寿命化対策に資する農業用排水施設等の整備を行うことで、効率的な農業運営・管理を実現する。		
(単位：千円)		【事業の内容】 ・上段地区水路改修工事測量設計業務 事業費：5,000千円（国55%、県14%、市21%、地元10%） ・大口堰土地改良区揚岸用水堰新設工事 事業費：4,580千円（国50%、県14%、市21%、地元15%） ・服部排水機場ポンプ設備分解整備 事業費：100,000千円（国50%、県25%、市25%） ・西円通寺排水機場ゲート設備分解整備 事業費：15,000千円（国50%、県25%、市25%） ・三谷池樋門整備工事 事業費：8,000千円（国50%、県14%、市21%、地元15%）		
前年度当初予算額	13,779	【事業の実績】 令和3年度 9,292千円 令和4年度 3,784千円 令和5年度 13,779千円（見込）		
本年度要求額	132,580	※その他財源の負担金は、地元負担金		
総務部長段階査定額	132,580	【事業の内容】 ・上段地区水路改修工事測量設計業務 事業費：5,000千円（国55%、県14%、市21%、地元10%） ・大口堰土地改良区揚岸用水堰新設工事 事業費：4,580千円（国50%、県14%、市21%、地元15%） ・服部排水機場ポンプ設備分解整備 事業費：100,000千円（国50%、県25%、市25%） ・西円通寺排水機場ゲート設備分解整備 事業費：15,000千円（国50%、県25%、市25%） ・三谷池樋門整備工事 事業費：8,000千円（国50%、県14%、市21%、地元15%）		
市長段階査定額	132,580	【事業の実績】 令和3年度 9,292千円 令和4年度 3,784千円 令和5年度 13,779千円（見込）		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ・上段地区水路改修工事測量設計業務 事業費：5,000千円（国55%、県14%、市21%、地元10%） ・大口堰土地改良区揚岸用水堰新設工事 事業費：4,580千円（国50%、県14%、市21%、地元15%） ・服部排水機場ポンプ設備分解整備 事業費：100,000千円（国50%、県25%、市25%） ・西円通寺排水機場ゲート設備分解整備 事業費：15,000千円（国50%、県25%、市25%） ・三谷池樋門整備工事 事業費：8,000千円（国50%、県14%、市21%、地元15%）		
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 9,292千円 令和4年度 3,784千円 令和5年度 13,779千円（見込）		
国・県支出金	97,911	【事業の内容】 ・上段地区水路改修工事測量設計業務 事業費：5,000千円（国55%、県14%、市21%、地元10%） ・大口堰土地改良区揚岸用水堰新設工事 事業費：4,580千円（国50%、県14%、市21%、地元15%） ・服部排水機場ポンプ設備分解整備 事業費：100,000千円（国50%、県25%、市25%） ・西円通寺排水機場ゲート設備分解整備 事業費：15,000千円（国50%、県25%、市25%） ・三谷池樋門整備工事 事業費：8,000千円（国50%、県14%、市21%、地元15%）		
地方債	32,100	【事業の実績】 令和3年度 9,292千円 令和4年度 3,784千円 令和5年度 13,779千円（見込）		
その他	2,387	【事業の内容】 ・上段地区水路改修工事測量設計業務 事業費：5,000千円（国55%、県14%、市21%、地元10%） ・大口堰土地改良区揚岸用水堰新設工事 事業費：4,580千円（国50%、県14%、市21%、地元15%） ・服部排水機場ポンプ設備分解整備 事業費：100,000千円（国50%、県25%、市25%） ・西円通寺排水機場ゲート設備分解整備 事業費：15,000千円（国50%、県25%、市25%） ・三谷池樋門整備工事 事業費：8,000千円（国50%、県14%、市21%、地元15%）		
一般財源	182	【事業の内容】 ・上段地区水路改修工事測量設計業務 事業費：5,000千円（国55%、県14%、市21%、地元10%） ・大口堰土地改良区揚岸用水堰新設工事 事業費：4,580千円（国50%、県14%、市21%、地元15%） ・服部排水機場ポンプ設備分解整備 事業費：100,000千円（国50%、県25%、市25%） ・西円通寺排水機場ゲート設備分解整備 事業費：15,000千円（国50%、県25%、市25%） ・三谷池樋門整備工事 事業費：8,000千円（国50%、県14%、市21%、地元15%）		
計	132,580	【事業の内容】 ・上段地区水路改修工事測量設計業務 事業費：5,000千円（国55%、県14%、市21%、地元10%） ・大口堰土地改良区揚岸用水堰新設工事 事業費：4,580千円（国50%、県14%、市21%、地元15%） ・服部排水機場ポンプ設備分解整備 事業費：100,000千円（国50%、県25%、市25%） ・西円通寺排水機場ゲート設備分解整備 事業費：15,000千円（国50%、県25%、市25%） ・三谷池樋門整備工事 事業費：8,000千円（国50%、県14%、市21%、地元15%）		
備考欄		【事業の内容】 ・上段地区水路改修工事測量設計業務 事業費：5,000千円（国55%、県14%、市21%、地元10%） ・大口堰土地改良区揚岸用水堰新設工事 事業費：4,580千円（国50%、県14%、市21%、地元15%） ・服部排水機場ポンプ設備分解整備 事業費：100,000千円（国50%、県25%、市25%） ・西円通寺排水機場ゲート設備分解整備 事業費：15,000千円（国50%、県25%、市25%） ・三谷池樋門整備工事 事業費：8,000千円（国50%、県14%、市21%、地元15%）		

農055	項目名	土地改良施設維持管理適正化事業費	新規事業																				
予算書項目	土地改良施設維持管理適正化事業費	ページ	243																				
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農村整備課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316																						
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104																						
項 農業費	【事業の経過及び背景】 土地改良施設の定期的な整備補修に対する支援を通じて、当該施設の機能を耐用年数まで全うさせるとともに、土地改良区等施設管理者の管理意識の高揚を図る。																						
目 農地費	【事業の目的及び効果】 土地改良区等が土地改良施設を適切に整備補修するための拠出金の一部を補助することで、施設の老朽化による維持管理の負担増を軽減する。 (本事業の仕組み) ①造成資金90%(国補助金30%+県補助金30%+土地改良区30%[うち2/3市補助金]) ②自己資金10%(土地改良区) 土地改良区は①と②を財源に適正化事業を実施する。																						
(単位:千円)	【事業の内容】 土地改良区が拠出する拠出金への補助 ・大井手土地改良 総事業費 9,100千円 事業内容 朝月・下味野水路転落防止柵整備補修、水路改修 ・大口堰土地改良区 総事業費 4,600千円 事業内容 樋門電気設備整備補修 3か所(数津用水堰・叶用水・的場用水)																						
前年度当初予算額	428	【事業の実績】 令和3年度 428千円 令和4年度 428千円 令和5年度 428千円(見込)																					
本年度要求額	548																						
総務部長段階査定額	548	備考欄																					
市長段階査定額	548	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収金	0																						
その他	0																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	計	548																					
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	548																						
計	548																						

農056	項目名	危険ため池廃止事業費	新規事業																				
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	243																				
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農村整備課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317																						
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104 ●実施計画																						
項 農業費	【事業の経過及び背景】 平成30年7月豪雨では、広島県を中心として32か所のため池が決壊し、ため池の下流に大きな被害を与えた。ハード・ソフト両面からの災害に強い地域づくりを推進する必要がある。																						
目 農地費	【事業の目的及び効果】 使われていない危険ため池を廃止し、地域の防災・減災対策を図る。																						
(単位:千円)	【事業の内容】 防災重点農業用ため池のうち未利用のため池について、地元から要望のあるものを廃止する。 ・ため池廃止事業測量設計業務 3,500千円 (菖蒲谷池、報徳1) ・ため池廃止工事 6,000千円 (宮ノ谷堤)																						
前年度当初予算額	1,200	【事業の実績】 令和3年度 5千円 令和4年度 11,589千円 令和5年度 9,200千円(見込)																					
本年度要求額	9,500	備考欄																					
総務部長段階査定額	9,500	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収金	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	9,500																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	計	9,500																					
国・県支出金	9,500																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	0																						
計	9,500																						

農057	項目名	ため池ハザードマップ作成事業費	新規事業
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	243
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】 2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】		
目 農地費	住民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、ため池ハザードマップの作成が急務となっている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	1,400	災害発生時に迅速・的確な避難を行うとともに、災害による被害の低減を図る。	
本年度要求額	800	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	800	ハザードマップの作成（1か所予定）	
市長段階査定額	800	大石 800千円	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和3年度 2,657千円	
国・県支出金	800	令和4年度 1,705千円	
地方債	0	令和5年度 1,400千円（見込）	
その他	0		
一般財源	0		
計	800		
備考欄			

農058	項目名	ため池改修事業費	新規事業
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	243
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】 2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】		
目 農地費	近年、豪雨等によりため池等の決壊による被害が相次いでいる。平成26年のため池一斉点検調査において、豪雨耐性等が不足しているため池について対策整備を行う。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	15,000	該当ため池を防災工事することにより、災害時での危険を未然に防止する。	
本年度要求額	24,000	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	24,000	ため池の改修工事	
市長段階査定額	24,000	実施箇所：湯谷池（倭文地区）	
区分	本年度予算額	実施期間：令和6年～令和8年度	
財源内訳		総事業費：90,000千円	
国・県支出金	19,200	令和6年度：測量設計業務 24,000千円（国55%、県25%、市20%）	
地方債	4,300	【事業の実績】	
その他	0	令和5年度 15,000千円（見込）	
一般財源	500		
計	24,000		
備考欄			

農059	項目名	ため池監視システム管理費	新規事業
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	243
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●明るい未来プラン		
項 農業費	【事業の経過及び背景】		
目 農地費	ため池の下流地域では、豪雨時の浸水リスクが高く、決壊した際の被害も甚大なため、早急な避難が求められる。また、農業用ため池の管理は殆どが地元によって行われている実情があり、雨中での作業は大変危険なものとなっている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	180	遠隔でため池の情報を得ることができる監視システムを導入することで、災害時の迅速な対応を行える。	
本年度要求額	960	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	960	ため池監視システムの維持経費 令和5年度：3箇所（新城寺池、神谷奥池、奥谷口池） 令和6年度：13箇所（矢中溜池ほか） 各59,994円/年 負担区分：県50%、市50%	
市長段階査定額	960	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和5年度 180千円（見込）	
財源内訳	国・県支出金 480		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 480		
	計 960		
備考欄			

農060	項目名	中山間地域等直接支払交付金	新規事業
予算書項目	中山間地域等直接支払事業費	ページ	243
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 総務係 0857-30-8316		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 農業費	【事業の経過及び背景】		
目 農業構造改善事業費	農業の生産条件が不利な地域における耕作放棄地の増加が懸念されている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	102,769	農業の生産条件が不利な地域において、農業生産に必要な水路や農道の維持管理等に関する活動を支援することで、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。	
本年度要求額	105,844	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	105,844	中山間地域等直接支払交付金 補助対象：117組織（79,517a） 交 付 額：104,828千円 負担区分：国50%、県25%、市25%（三法地域） 国33%、県33%、市34%（特認地域） ・事業推進事務費（人件費、事務費）	
市長段階査定額	105,844	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和3年度 98,840千円 令和4年度 102,746千円 令和5年度 102,769千円（見込）	
財源内訳	国・県支出金 78,564		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 27,280		
	計 105,844		
備考欄			

農061	項目名	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】	新規事業
------	-----	----------------------	------

予算書項目	過年発生災害復旧費	ページ	301
-------	-----------	-----	-----

所属名	農林水産部 農村整備課
-----	----------------

年度	R6
----	----

会計名	
一般会計	
款	災害復旧費
項	災害復旧費
目	農林水産業施設災害復旧費

(単位：千円)

前年度当初予算額	0
----------	---

本年度要求額	1,134,355
--------	-----------

総務部長段階査定額	1,134,355
-----------	-----------

市長段階査定額	1,134,355
---------	-----------

区分	本年度予算額
国・県支出金	992,853
地方債	130,100
その他	11,229
一般財源	173
計	1,134,355

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	11,229
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

備考欄

事業の概要

【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317

【事業の経過及び背景】
令和5年台風第7号により農地・農業用施設が被災を受けた。

【事業の目的及び効果】
農業経営への影響を最小限に留めるため、災害からの復旧を図る。

【事業の内容】
補助災害復旧事業 1,134,355千円

【事業の実績】
令和3年度 48,412千円
令和4年度 2,420千円
令和5年度 15,000千円（見込）

※その他財源の負担金は、地元負担金